

入学試験要項 2026

2026 年 4 月入学

帝京大学大学院

Teikyo University Graduate School

■理学研究科（通信教育課程）情報科学専攻 修士課程

目 次

建学の精神	1		
はじめに	1		
理工学研究科の教育目的	1		
情報科学専攻の教育目的	1		
アドミッション・ポリシー	2		
ディプロマ・ポリシー	2		
情報科学専攻のカリキュラムポリシー	2		
出願から入学までの流れ	3	修了要件	23
募集人員および出願資格・要件	4	取得できる資格	23
納入金	5	教育・研究指導の方法	23
入学試験制度	6	情報科学専門科目	23
一般選抜試験	6	特別演習	23
社会人選抜試験	8	特別研究	23
指導を希望する教員との事前相談	10	修士論文に関する日程	24
入学および出願に関する注意事項	11	科目修得試験実施日程	25
出願手続	13	指導教員	26
インターネット出願の流れ	14	開講科目一覧	29
出願書類の提出	18	科目の概要	30
入学試験について	19	出願から修了まで	32
合格発表	20	出願書類	33
入学手続	21	<u>志望理由書</u>	
試験場および出願場所案内	22	<u>長期履修申請書</u>	
(宇都宮キャンパス)		<u>個別入学資格審査申請書</u> （別紙様式 1-1、1-2、1-3）	

個人情報の取扱いについて

出願においてお知らせいただいた個人情報（氏名、住所等）は本学におきまして入学案内、入学試験に関する業務を行うために利用します。この業務の一部は、本学より当該業務の一部を委託した業者（以下、「受託業者」という）にて行います。

業務委託にあたり、個人情報の保護に関する契約を締結した受託業者に、お知らせいただいた個人情報の全部または一部を提供することができます。

建学の精神

努力をすべての基とし偏見を排し
幅広い知識を身につけ
国際的視野に立って判断ができる
実学を通して創造力および人間味豊かな
専門性ある人材の養成を目的とする

はじめに

大学院の通信教育においては、広く開かれた教育機関として、高度情報化社会に即応した新たな知識や高度技術の習得のために、さまざまな職業、年齢の方々に情報科学を専攻とする高度で専門的な教育の機会を提供することが可能であり、高度情報化社会に適合した教育体制となっております。中でもインターネットの利用により、企業に勤務する社会人や現場教員、あるいは在宅学習者を対象としたカリキュラムを用意し、勤務しながら、あるいは在宅等で再教育を受けられるよう通信制大学院を設置いたしました。

情報科学教育や研究を広く社会に開放し、高度情報化社会における社会的な要請に応えて、インターネットなどによるeラーニング（電子学習）を有効に活用したカリキュラムを編成し、情報分野の急速な技術革新に対応できる専門的知識・能力を有するエンジニアの育成を目指します。

本学大学院理工学研究科（通信教育課程）情報科学専攻修士課程に入学され、人生の新しい可能性をぜひ見つけてください。

理工学研究科の教育目的

理工学研究科は、建学の精神に則り、「物質」、「エネルギー」、「情報」、「生命」などを人類や社会福祉のために有効かつ平和的・経済的に活用することを理念とする。これらを活用するための科学技術は、すでに高度化、精密化、多様化しているため、さらなる革新に対応しうる人材の育成を目指す。さらに、各専門分野の枠を超えて、理工学における先進的で高度な教育・研究を行い、幅広い視野を持ち国際化に対応できる人材の育成を目的とする。

情報科学専攻の教育目的

理工学研究科（通信教育課程）は、建学の精神に則り、高度に発達を続ける情報技術に対応すべく、将来の技術の変革の基礎となる情報科学を教育し、高度な情報科学の知識と技術を持ち、情報技術を現実の場に生かし、情報技術の発展に貢献できる専門性の高い人材の育成を目的とする。

アドミッション・ポリシー

理工学研究科は、さまざまな問題が地球規模で複雑に絡み合った現代社会において、科学技術者は幅広い視野を持つことが不可欠な現状を踏まえ、機械・精密システム工学、航空宇宙工学、情報電子工学、バイオサイエンスの各専門分野のさらなる高度化と複合化に対応して科学技術の発展に貢献でき、かつ国際的な広い視野を持ち、科学技術者としての倫理観に基づいて判断できる人材の育成を目指しています。

そのため、各分野の専門科目に関する基礎学力、および研究やコミュニケーションに必要な英語の能力があることが求められます。

学士課程等における学修を通じて、次のような能力・資質を備えた入学者を求めていきます。

1. 理工学に対して豊かな感性を持ち、何事にも好奇心を持ってチャレンジできる。
2. 理工学における専門分野の研究を積極的に遂行する能力がある。
3. 理工学における他の関連分野とも連携を図り、総合的な観点から科学技術を推進できる。
4. 現代の科学技術社会を正しく理解し、科学技術者としての倫理観に基づいて判断することができ、かつ、国際的な観点から新しい研究・開発を先導できる。

ディプロマ・ポリシー

理工学研究科（通信教育課程）は、情報科学専攻において、高度な情報科学の知識と技術を持ち、情報技術の発展に貢献できる専門性の高い人材を育成することを目指している。以下のような能力を身につけ、かつ所定の単位を修めた者に対して学位を授与する。

1. 情報科学、情報工学、情報システムの基礎理論から応用技術までを修得し、高度情報化社会に有效地に活用できる。
2. 情報科学分野のさまざまな問題を多面的に分析、統合し、かつ、課題を設定し、それらを解決することができる。
3. 情報科学分野において、専門的なディスカッションおよびプレゼンテーションができる。
4. 情報科学分野において、研究テーマを設定し、研究を推進し、その研究成果を論文として纏めることができる。

理工学研究科情報科学専攻のカリキュラムポリシー

学位授与に要求される能力を修得するために、理工学研究科通信教育課程は、情報科学専攻において、以下の方針でカリキュラムを編成する。時間や場所に制約されることなく学修が可能となるよう、各科目をテキスト授業、スクーリング授業、インターネットを介したメディア授業のいずれかとして開講する。

1. 情報科学分野の基礎理論から応用技術までの修得に必要となる科目を情報科学専門科目に設ける。
2. 指導教員の指導のもと、特定の分野において、専門書の講読、研究論文の講読、ディスカッションなどを通じて専門的知識をさらに深めるための特別演習を設ける。
3. 指導教員の指導のもと、研究テーマを設定し、高度で専門的な研究を進め、修士論文を作成し、かつ、その成果を発表する力を身につけるための特別研究を設ける。

出願から入学までの流れ

1 アドミッション・ポリシーの確認

- ▼ アドミッション・ポリシーを確認してください。

2 募集人員、出願資格・出願要件、納入金、入学試験の確認

- ▼ 志望する専攻・課程の募集人員、出願資格・出願要件、納入金、入学試験を確認してください。
なお、出願資格によっては出願手続き前に入学資格審査を受ける必要があります。

3 指導を希望する教員との事前相談

志望する分野を検討し、出願前に必ず本学の指導を希望する教員に事前相談を行い、教員から受入承諾を得てください。

- ▼ 外国籍の方は、安全保障輸出管理に関する審査を「4. 出願手続、入学検定料の支払い」の前に受ける必要がありますので、指導希望教員の受入承諾を得たことを、出願締切日の10日前までに必ず宇都宮キャンパス学生サポート係まで連絡してください。出願締切日の10日前までに連絡が無い場合は、出願することができません。

4 出願手続、入学検定料の支払い※

- ▼ 「インターネット出願サイト」で登録完了後、入学検定料を支払い、出願書類を提出してください。

5 出願書類の提出※

- ▼ インターネット出願した内容が印字された用紙（入学願書）を印刷し、その他の出願書類と一緒に郵送または持参により、宇都宮キャンパス学生サポート係へ提出してください。

6 受験票について※

- ▼ 受験票は「インターネット出願サイト」よりダウンロードし、印刷したものを当日持参してください。

7 入学試験について

- ▼ 本入学試験要項の「試験について」を確認の上、受験票を必ず持参してください。

8 合格発表および入学手続

- ▼ 本入学試験要項の「合格発表」および「入学手続」を確認してください。
Webによる合否照会システムを利用することができます。
納入金は、合格発表日から入学手続締切日までに本学に着金するように振り込んでください。

9 入学

入学式については、「新入生向けサイト」にてご案内します。通信教育課程では出席は任意です。

本入学試験要項の「入学手続」([P.21](#))を確認してください。

※本入学試験要項の「インターネット出願の流れ」([P.14～17](#))を参照してください。

募集人員および出願資格・要件

1. 募集人員

募集専攻	募集課程	入学時期	一般	社会人
理工学研究科（通信教育課程）情報科学専攻	修士課程	2026年4月	20名	若干名

2. 出願資格・要件

※出願前に指導希望教員と連絡をとり、受入承諾を得ることが必要です。

一般選抜試験 2026年4月入学	<p>以下のいずれかに該当する者、または2026年3月31日までに該当する見込みの者</p> <p>(1) 大学を卒業した者 (2) 学校教育法第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者 (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者 (4) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者 (5) 文部科学大臣の指定した者 (6) 本研究科の定めるところにより、個別の入学審査をもって、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳に達したもの</p> <p>※ (6) に該当し出願しようとする者については、事前に個別入学資格審査を受け、入学資格を認められた場合に限り出願が認められます。詳細は P.12 または本学ホームページを参照してください。 https://www.teikyo-u.ac.jp/applicants/individual</p>
社会人選抜試験 2026年4月入学	<p>以下の資格に該当する者</p> <p>本大学院修士課程の一般選抜試験出願資格を満たし、かつ、原則として大学卒業後から本学大学院入学時までに、社会人（家事従事を含む）として2年以上の経験を有する者、または有する見込みの者。</p>

納 入 金

【学外者】手続時最小限納入金額を納入してください。社会人も同額です。

(単位:円)

修業年		入学時のみ		授業料 ^{*2}	施設拡充費 ^{*2}	合計
		入学金	学生教育研究 災害傷害保険 ^{*3}			
2年	手続時最小限納入金額	204,000	140	241,000 (半期分)	80,000 (半期分)	525,140
	初年度納入金額	204,000	140	482,000 (年額)	160,000 (年額)	846,140
長期 3年 ^{*1}	手続時最小限納入金額	204,000	140	162,000 (半期分)	54,000 (半期分)	420,140
	初年度納入金額	204,000	140	324,000 (年額)	108,000 (年額)	636,140
長期 4年 ^{*1}	手続時最小限納入金額	204,000	140	122,000 (半期分)	40,000 (半期分)	366,140
	初年度納入金額	204,000	140	244,000 (年額)	80,000 (年額)	528,140

※1 「長期」は、長期履修制度（3年または4年）を利用した場合の納入金です。[P.12](#) を参照してください。

※2 後期分の納入期限は、2026年10月末日です。10月初旬に振込用紙を郵送します。

※3 学生教育研究災害傷害保険費は、変更になることがあります。

※4 休学・留年等により進級できなかった場合、新たに所属する年度および年次の学納金が適用されます。

【学内出身者】手続時最小限納入金額を納入してください。社会人も同額です。

(単位:円)

修業年		入学時のみ		授業料 ^{*2}	施設拡充費 ^{*2}	合計
		入学金	学生教育研究 災害傷害保険 ^{*3}			
2年	手続時最小限納入金額	※5	140	241,000 (半期分)	80,000 (半期分)	321,140
	初年度納入金額	※5	140	482,000 (年額)	160,000 (年額)	642,140
長期 3年 ^{*1}	手続時最小限納入金額	※5	140	162,000 (半期分)	54,000 (半期分)	216,140
	初年度納入金額	※5	140	324,000 (年額)	108,000 (年額)	432,140
長期 4年 ^{*1}	手続時最小限納入金額	※5	140	122,000 (半期分)	40,000 (半期分)	162,140
	初年度納入金額	※5	140	244,000 (年額)	80,000 (年額)	324,140

※1 「長期」は長期履修制度（3年または4年）を利用した場合の納入金です。[P.12](#) を参照してください。

※2 後期分の納入期限は、2026年10月末日です。10月初旬に振込用紙を郵送します。

※3 学生教育研究災害傷害保険費は、変更になることがあります。

※4 休学・留年等により進級できなかった場合、新たに所属する年度および年次の学納金が適用されます。

※5 帝京大学の卒業生または卒業見込み者は、入学金を全額減免します。なお、帝京大学卒業生で最終学歴が帝京大学以外の場合、減免措置申請のため、出願書類に加え帝京大学の卒業（修了）証明書も提出してください。

入学試験制度

【一般選抜試験】

1. 日程

出願期間 (締切日必着)	選考試験日	合格発表日	入学手続 締切日	出願場所 および試験場
2026年1月19日(月) ～2月13日(金)	3月2日(月)	3月9日(月)	3月16日(月)	帝京大学 宇都宮キャンパス

2. 出願書類

書類は出願前6ヶ月以内に発行されたもので最終学歴の証明書を用意し、提出してください。提出された書類は、eの原本を除いて返却しません。日付の「年」はすべて「西暦」で記入してください。

	提出書類	補足事項
a.	入学願書(1)・入学願書(2)	所定の様式 ^{*1} 「インターネット出願サイト」で出願登録した後、ダウンロード・印刷して提出してください。
b.	卒業証明書または 卒業見込証明書および 成績証明書 ^{*2}	最終学歴の出身大学(学部・研究科)長が作成し、巻封したもの。 ・外国の大学を卒業(見込)の方は、学位取得(見込)証明書を必ず提出してください。 ・卒業見込証明書で出願した方は、指定期日までに卒業証明書を必ず提出してください。 ・学位取得見込証明書で受験した方は、指定期日までに学位取得証明書を必ず提出してください。 ・大学院を修了(退学)した方は、学部の卒業証明書と成績証明書も提出してください。 ・出身大学卒業後、年数が経過し証明書が発行されない方は、その旨を記載した出身大学の発行する文書を提出してください。 ・高等学校教諭専修免許の取得を希望する方は、学力に関する証明書も提出してください。
c.	顔写真 (データ登録となります)	出願前3ヶ月以内に撮影した正面半身・無帽・無背景のもの。インターネット出願のマイページにて写真データを登録してください。 ※試験中に眼鏡をかける方は、眼鏡をかけて撮影してください。 ※写真は入学後の学生証写真として使用します。
d.	志望理由書	所定の様式 ^{*3}
e.	英語の能力を示す証明書の 原本および写し	2022年4月1日以降の公式スコア原本1枚と写し1枚を提出してください(原本は、入学試験当日に返却します)。 ※TOEIC®TEST 公式認定証、TOEICIP®TEST スコアレポート、 TOEFL®TEST 公式スコア票、IELTS®TEST 公式の成績証明書またはCASECスコアレポートなどの英語検定スコア ※願書出願時においては、いずれの場合も受験票他、証明書となる書類の提出でも可とします(試験当日までに認定証または公式スコア票を提出してください)。

f.	在留カードのコピー	日本国内に居住している外国人のみ。両面をコピーして提出してください。
g.	戸籍個人事項証明書	出願時の氏名と出身学校証明書記載の氏名が異なる方のみ。
h.	長期履修申請書	所定の様式 ^{*3} ・制度利用希望者のみ提出してください。

- ※1 あらかじめ宇都宮キャンパス教務課通信教育・資格係に連絡の上、第一希望とする研究指導教員の受入承諾を得てください。受入承諾を得られていない場合は、Web出願ができません。
- ※2 外国語で作成されている書類については、公的機関や民間の翻訳会社等が発行する「日本語の翻訳（原本）」を必ず添付してください。「外国語で作成されている書類」と「日本語の翻訳」の2つが揃っていない場合、出願を受け付けません。
- ※3 本学のホームページ <https://www.teikyo-u.ac.jp/applicants/download#04> 「入学試験要項・出願書類ダウンロード」より、「ダウンロード可能な出願書類一覧はこちら」をクリックして、所定の様式をダウンロード・印刷し、提出してください。

3. 選考方法

入学者の選考は、出願時の提出書類・筆記試験・面接試験などを総合して行います。全てを受験してください。未受験科目（面接を含む）がある場合、試験結果はすべて無効となります。

4. 時間割・試験内容

時 間	試 験 内 容
9：10	集合時間
9：20 ～ 9：30	受験上の注意
9：30 ～ 11：10	専門科目：下記5科目のうち、出願時に選択した2科目を受験する。 数学、電気回路、電子回路、情報科学、情報システム
12：10 ～	面接（10分）

〈注意事項〉

- ①専門科目において、必要に応じて大学側から関数電卓を貸与します。持込みは不可とします。
- ②入室限度は30分としますので、試験開始後10:00まで入室を認めます。ただし、試験時間の延長は認めません。
- ③受験者1名に対し、複数名の教員による面接を行います。

【社会人選抜試験】

1. 日程

出願期間 (締切日必着)	選考試験日	合格発表日	入学手続 締切日	出願場所 および試験場
2026年1月19日（月） ～2月13日（金）	3月2日（月）	3月9日（月）	3月16日（月）	帝京大学 宇都宮キャンパス

2. 出願書類

書類は出願前6ヶ月以内に発行されたもので最終学歴の証明書を用意し、提出してください。提出された書類は、eの原本を除いて返却しません。日付の「年」はすべて「西暦」で記入してください。

	提出書類	補足事項
a.	入学願書(1)・入学願書(2)	所定の用紙 ^{*1} 「インターネット出願サイト」で出願登録し、ダウンロード・印刷して提出してください。
b.	卒業証明書または修了証明書および成績証明書 ^{*2}	最終学歴の出身大学（学部・研究科）長が作成し、巻封したもの。 ・外国の大学を卒業の方は、学位取得証明書を必ず提出してください。 ・大学院を修了（退学）した方は、学部の卒業証明書と成績証明書も提出してください。 ・出身大学卒業後、年数が経過し証明書が発行されない方は、その旨を記載した出身大学の発行する文書を提出してください。 ・高等学校教諭専修免許の取得を希望する方は、学力に関する証明書も提出してください。
c.	顔写真（データ登録となります）	出願前3ヶ月以内に撮影した正面半身・無帽・無背景のもの。インターネット出願のマイページにて写真データを登録してください。 ・試験中に眼鏡をかける方は、眼鏡をかけて撮影してください。 ・貼付した写真を入学後の学生証写真として使用します。
d.	志望理由書	所定の様式 ^{*3}
e.	英語の能力を示す証明書の原本および写し	2022年4月1日以降の公式スコア原本1枚と写し1枚を提出してください（原本は、入学試験当日に返却します）。 ・TOEIC [®] TEST 公式認定証、TOEICIP [®] TEST スコアレポート、TOEFL [®] TEST 公式スコア票、IELTS [®] TEST 公式の成績証明書またはCASECスコアレポートなどの英語検定スコア ・願書出願時においては、いずれの場合も受験票他、証明書となる書類の提出でも可とします（試験当日までに認定証または公式スコア票を提出してください）。
f.	在留カードのコピー	日本国内に居住している外国人のみ。両面をコピーして提出してください。
g.	戸籍個人事項証明書	出願時の氏名と出身学校証明書記載の氏名が異なる方のみ。
h.	長期履修申請書	所定の様式 ^{*3} ・制度利用希望者のみ提出してください。

※1 あらかじめ宇都宮キャンパス教務課通信教育・資格係に連絡の上、第一希望とする研究指導教員の受入承諾を得てください。受入承諾を得られていない場合は、Web出願ができません。

※2 外国語で作成されている書類については、公的機関や民間の翻訳会社等が発行する「日本語の翻訳（原本）」を必ず添付してください。「外国語で作成されている書類」と「日本語の翻訳」の2つが揃っていない場合、出願を受け付けません。

※3 本学のホームページ <https://www.teikyo-u.ac.jp/applicants/download#04> 「入学試験要項・出願書類ダウンロード」より、「ダウンロード可能な出願書類一覧はこちら」をクリックして、所定の様式をダウンロード・印刷し、提出してください。

3. 選考方法

入学者の選考は、出願時の提出書類・筆記試験・口述・面接試験などを総合して行います。全てを受験してください。未受験科目（面接を含む）がある場合、試験結果はすべて無効となります。

4. 時間割・試験内容

時 間	試 験 内 容
9：10	集合
9：20 ～ 9：30	受験上の注意
9：30 ～ 11：00	筆記試験（専攻分野に関する小論文）
12：10 ～	口述試験・面接

〈注意事項〉

- ①受験者数によって面接終了時間が変動いたします。
- ②会場は試験当日、宇都宮キャンパス本部棟1号館1階に掲示します。必ず確認してください。
- ③試験は9：30から開始します。9：30までに試験会場に入室していない場合は、受験することができません。
- ④受験生1名に対し、複数名の教員による口述試験および面接を行います。

〈試験内容〉

- ①口述試験（口頭発表・口頭試問）

- (1)口頭発表（プレゼンテーション）10分

卒業研究あるいは現在行っている研究などの背景、目的、方法、結果・考察、および進学後の研究テーマを簡潔に発表してください。

発表に際しては、PowerPoint（以下PP）で作成したスライドを用いることとします。発表用のパソコン（以下PC）は本学で用意しますが、自前のPCを使用することもできます。プロジェクター接続方法はVGA、HDMI、USB-Cを使用できます。どちらのPCを使用するかは、出願時までに本学へ連絡してください。また、自分のPCで発表する場合も発表用データ（PPおよびPDFファイル）を自前のUSBメモリにて、当日持参してください。集合時に預かります。なお、口頭発表時の教員用資料として、発表用PPのスライドを印刷したもの3部（様式自由）を出願時に提出あるいは試験日前日までに提出してください。

連絡先：宇都宮キャンパス学生サポート係 TEL：028-627-7123

- (2)口頭試問

口頭発表終了後、発表内容に関連した口頭試問（10分）を行います。

- ②面接 10分

志望理由、入学後の抱負などについて伺います。

指導を希望する教員との事前相談

出願にあたり、あらかじめ本学教務課に e メールで連絡し、希望する研究指導教員から受入れの承諾を得てください。なお、教員の内諾を得るまでには時間を要しますので、出願締切日に間に合うためには、遅くとも 1 月末日までに e メールでご連絡ください。

必ずしも希望通りの教員になるわけではありませんのであらかじめご了承ください。

【連絡方法】

特別演習・研究の概要（P.26～）を参照し、e メールにて以下の事項を教務課へご連絡ください。

送信先アドレス：tsushin@riko.teikyo-u.ac.jp

- 件名：通信制大学院 指導教員等事前相談
- 氏名、年齢、連絡先（メールアドレス、電話番号、住所）、最終学歴・卒業年、現在の職業、指導を希望する教員名（第 3 希望まで）

【e メール送信から出願まで】

- ① e メール到着後、教務課より指導を希望する教員のメールアドレスを連絡します。
- ② 教務課より教員の連絡先をお伝えしますので、e メールで研究したい内容（300 字程度）を教員に連絡し、受け入れの相談をしてください。
- ③ 第 1 希望の教員の内諾が得られない場合には、再度教務課に連絡し、第 2, 3 希望の教員と確認・受入れの相談をします。
- ④ 教員の確認後、出願の可否について e メールで教務課より連絡します。
- ⑤ 出願締切日までに検定料の納付や出願書類等の提出手続を完了してください。

入学および出願に関する注意事項

1. 修業年限について	<p>標準修業年限は2年、最長在学年限は4年です（休学期間は含まない）。</p> <p>【長期履修制度を利用した場合】</p> <p>修業年限は3年または4年、最長在学年限は4年です（休学期間は含まない）。</p> <p>●長期履修制度の利用申請は、出願時にのみ受け付けます（8. 参照）。</p>
2. インターネット環境について	<p>自宅からインターネット経由で提供されるeラーニング（LMS）や講義ビデオ（Mediasite）の環境にアクセスが可能であることや、eメールで教員および事務とのやりとりが可能であることが必要です。インターネット接続環境のある以下の動作環境を備えたパソコンを用意してください。スマートフォン、タブレットでは使用できない機能があります。プリンター（印刷機）、Web会議システムが利用可能な環境（Webカメラ、マイク）も用意してください。必要な連絡事項およびその他補助教材等もLMSにすべて配信します。各自でこまめにアクセスして情報を得なければなりません。</p> <p>【推奨動作環境】</p> <p>■ Windows OS</p> <ul style="list-style-type: none">・OS windows11以降・CPU Intel Core i5以上・メモリ8GB以上 <p>■ ブラウザ</p> <ul style="list-style-type: none">-Microsoft Edge-Google Chrome-Firefox（いずれかの最新版） <p>■ Mac OS</p> <ul style="list-style-type: none">・OS Mac 14 (Sonoma) 以降・ブラウザ-Safari-Google Chrome-Firefox（いずれかの最新版）
3. 学修について	本学大学院では、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例に基づき、教育上特別の必要があると認められる場合には、通常の時間帯以外での学習や研究活動を認める場合があります。
4. 受験および修学上の特別配慮について	スクーリングや科目修得試験などの学校行事に参加するがあるため、身体機能の障がいや疾病・疾患等により、受験および修学上特別な配慮を必要とする場合は、遅くとも出願締切日の2週間前までに、宇都宮キャンパス教務課通信教育係まで申し出てください（TEL028-627-7117）。本学の対応を決定した後に、出願していただきます。要望に対応できない場合もありますので、予めご了承ください。また、不慮の事故等により、出願後に特別な配慮が必要となった場合も速やかに連絡してください。
5. 外国人・日本国外に在住している方の入学について	日本語が堪能かつ日本国内でスクーリングや修士論文発表会などの学校行事に出席することが可能な方、さらに、補助教材・学費請求などの送付先は日本国内のみとなるため、日本国内での受け取りが可能な方となります。
6. 安全保障輸出管理について	帝京大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて、「帝京大学 安全保障輸出管理規程」を定め、物品の輸出、技術の提供、人材の交流に関して必要な審査を実施しています。規制されている事項に該当する場合は、希望する研究活動に制限がかかる場合や、教育を受けられない場合がありますので、入学願書の提出前に指導希望教員と相談するなど、出願にあたっては注意してください。なお、入学時に「外国為替及び外国貿易法」を遵守する旨の誓約書に署名していただきます。
7. 提出書類等について	受験者は指導希望教員の内諾を得ることを原則としています。あらかじめ本学にeメールで連絡（P.10の指導を希望する教員との事前相談参照）のうえ、指導承諾を得てから出願してください。出願書類は各自で印刷し、記入したものを郵送してください。不備がある場合は、受け付けません。提出された出願書類（英語の能力を示す証明書の原本を除く）および入学検定料は、いかなる理由があっても返還しません。出願後は、いかなる理由があっても記載内容の変更は認めません。入学願書の連絡先（携帯電話番号、電話番号、メールアドレス）は、受験票の送付等、重要な連絡に使用しますので、必ず記入してください。出願書類に記入した住所・連絡先に変更が生じた場合は、直ちに申し出てください。

8. 長期履修制度について	<p>本学では、社会人等に配慮し、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し課程を修了する長期履修制度を設けています。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 修業年限：3年間または4年間 2. 申請時期および履修期間の変更 長期履修を希望する者は出願時に申請をしてください。入学後の申請はできません。なお、長期履修期間の変更は1回限り、1年間の短縮が可能です。 3. 申請方法 インターネット出願サイトより、修業年限を選択してください。「長期履修申請書」を本学ホームページよりダウンロード・印刷し、必要事項を記入してください。「申請理由」欄には長期履修を希望する具体的な理由を明記してください。なお、「長期履修申請書」は出願時に提出してください。 4. 学費 標準修業年限の総額（入学金および保険費については、入学手続き時に納めています）を長期履修許可年限で除した額を1年間の学費とします。詳細については、「納入金」のページを参照してください。 5. 長期履修生となる場合、厚生労働省の教育訓練給付制度（一般教育訓練給付金）を利用できません。
9. 個別の入学資格審査について	<p>P.4 の出願資格（6）に該当し出願を希望する者は、以下の申請期間に必要書類を郵送してください。</p> <p>学内の書類審査にて入学資格が認定されたのち、各入学試験の出願手続きをしてください。</p> <p>●個別入学資格審査とは 大学卒業資格を有していない者で、2026年3月31日までに22歳に達する者が本大学院において、大学を卒業した者と同等またはそれ以上の学力があるか否かを認定する審査です。認定された者は本大学院へ出願することができます。</p> <p>●申請期間 2026年12月1日（月）～12月12日（金） ※締切日必着（消印有効ではありません） ※郵送による場合は、封筒の表に「個別入学資格審査申請書」在中と朱書きのうえ「簡易書留」で、申請期間に送付してください。</p> <p>●提出書類 ①入学資格審査申請書（所定用紙 様式1-1・様式1-2・様式1-3） ②生年月日を証明する書類（住民票の写しなど） ③既修得単位数を証明できるもの（成績証明書、教育施設等の卒業または修了証明書） ④外国の書類を提出する場合は、公的機関等が発行する日本語の翻訳 ⑤実社会での実務経験・取得した資格などを証明する書類 ⑥大学院進学理由の作文（400～600字程度） ⑦個別入学審査を希望する理由書（400～600字程度） ⑧結果通知送付用 110円切手1枚 ⑨市販の封筒に「入学資格審査書類在中」と明記し、郵送してください。</p> <p>●申請場所 帝京大学宇都宮キャンパス教務課 【住所】〒320-8551 栃木県宇都宮市豊郷台1-1 【電話】028-627-7117（直通） 【受付時間】平日：9:00～17:00 土曜日：9:00～12:00 ※日曜・祝日および年末年始（12/29～1/3）は除きます。</p> <p>●認定書類発行日 2026年1月15日（木）</p>
10. 教育訓練給付制度（一般教育訓練給付金）について	<p>厚生労働省の教育訓練給付制度（一般教育訓練給付金）の指定講座に指定されています。制度についての詳細は、厚生労働省やハローワークのホームページでご確認ください。なお、長期履修生は対象外です。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指定期間：2025年10月1日（水）～2028年9月30日（土） ・対象者：指定期間内に対象講座に入学する方で、一定の給付要件を満たす方 ・一般教育訓練支給額：受講費用の20%（上限10万円）を訓練修了後に支給 ・給付金の支給申請手続：お住まいを管轄する公共職業安定所（ハローワーク）
11. 入学手続き完了後でも、提出書類の記載に事実と相違する内容が判明した場合や入学資格がないことが判明した場合には、入学許可を取り消します。また、入学検定料を除く納入済みの金額を返還いたします。ただし、返還時に発生する振込手数料は出願者の負担となります。	

出願手続

インターネットによる出願となります。以下の URL にアクセスし、必要な情報の入力および顔写真データの登録後、出願手続きを行ってください。

「インターネット出願の流れ」を参照してください (P.14 ~ 17)。

<https://e-apply.jp/ds/teikyo/>

1. 出願期間

課程	出願開始日時	出願締切日時 出願情報登録 / 入学検定料納入 / 出願書類到着
修士課程	2026 年 1 月 19 日 (月) 9:00	2026 年 2 月 13 日 (金) 16:30

2. 入学検定料 35,000 円

・入学検定料の支払い方法の詳細はインターネット出願の流れ STEP5 (P.16) を確認してください。

インターネット出願の流れ

出願完了までの流れは、以下の通りです



STEP 1 事前準備

1



事前準備

インターネットに接続されたパソコン、プリンターなどを用意してください。

出願書類※は、発行まで時間を要する場合があります。早めに準備を始め、出願前には必ず手元にあるようにしておいてください。

※出願書類…志望理由書、各種証明書、顔写真データなど
詳細は入学試験要項を参照してください



STEP 2 インターネット出願サイトにアクセス

2



インターネット出願サイトにアクセス

インターネット出願サイト ▶ <https://e-apply.jp/ds/teikyo/>

または、

大学ホームページ ▶ <https://www.teikyo-u.ac.jp/>
からアクセス



STEP 3 マイページの登録

3



画面の手順に従って、必要事項を入力してマイページ登録を行ってください。

なお、マイページの登録がお済みの方は、STEP4に進んでください。



①初めて登録する方は
マイページ登録から
ログインしてください。

②メールアドレスの登録を行って
仮登録メールを送信>を
クリックしてください。

③ユーザー登録画面から
ログインページへを
クリックしてください。

④登録したメールアドレスに
初期パスワードと
本登録用URLが届きます。
※@e-apply.jpのドメインからのメール
を受信できるように設定してください。



⑤ログイン画面から
登録したメールアドレスと④で
届いた『初期パスワード』にて
ログインを
クリックしてください。

⑥初期パスワードの変更を行ってください。

⑦表示された個人情報を入力して
次へを
クリックしてください。

⑧個人情報を確認して
この内容で登録するを
クリックしてください。



⑨登録完了となります。
マイページへを
クリックしてください。

⑩上記ページが表示されたら
マイページ登録は完了です。

※出願受付中の場合のみ、出願手続きを行う > ボタンをクリックすると出願手続に進めます。
登録期間外の場合は、これより先に進めませんのでログアウトボタンをクリックしてください。

STEP 4



出願内容の登録

画面の手順や留意事項を必ず確認して、画面に従って必要事項を入力してください。

①マイページログイン後の
出願手続きを行う > ボタン
から登録画面へ

②入試区分選択と留意事項の
確認

③志望専攻・コースおよび
受験科目等の選択

④指導教員、入学後予定身分等
の選択

⑤顔写真のアップロード
写真選択へ > ボタンをクリックし
写真を選択します。

⑥個人情報(氏名・住所等)の
入力

⑦出願内容の確認

⑧申込登録完了
引き続き支払う ボタンを
クリックし検定料のお支払い画面へ。

⑨入学検定料の支払い方法
●コンビニエンスストア
●ペイジー対応銀行ATM
●ネットバンキング ●クレジットカード

⑩出願に必要な書類PDF
(イメージ)
※検定料納入後に提出可能となります。



申込登録完了後は、登録内容の修正・変更ができませんので誤入力のないよう注意してください。
ただし、入学検定料支払い前であれば正しい出願内容で再登録することで、実質的な修正が可能です。
※「入学検定料の支払い方法」でクレジットカードを選択した場合は、出願登録と同時に支払いが完了しますので注意してください。

入学検定料の支払い方法で「コンビニエンスストア」または「ペイジー対応銀行ATM」を選択された方は、支払い方法の選択後に表示されるお支払いに必要な番号を下記メモ欄に控えたうえ、通知された「お支払い期限」内にコンビニエンスストアまたはペイジー対応銀行ATMにてお支払ください。

セブン-イレブンの場合

払込票番号 メモ(13桁)											
------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

デイリーヤマザキ、セイコーマートの場合

オンライン決済 番号メモ(11桁)											
----------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

ローソン、ミニストップ、ファミリーマート、ペイジー対応銀行ATMの場合

お客様番号 メモ(11桁)											
確認番号 メモ(6桁)											

収納機関番号
(5桁) **5 8 0 2 1** ※収納機関番号は、ペイジーで
お支払いの際に必要となります。

申込登録完了後に確認メールが送信されます。メールを受信制限している場合は、送信元(@e-apply.jp)からのメール受信を許可してください。※確認メールが迷惑フォルダなどに振り分けられる場合がありますので、注意してください。

STEP
5



入学検定料の支払い

1 クレジットカードでの支払い

出願内容の登録時に選択し、支払いができます。

【ご利用可能なクレジットカード】

VISA、Master、JCB、AMERICAN EXPRESS、MUFGカード、DCカード、UFJカード、NICOSカード



出願登録時に支払い完了

2 ネットバンキングでの支払い

出願内容の登録後、ご利用画面からそのまま各金融機関のページへ遷移しますので、画面の指示に従って操作し、お支払いください。

※決済する口座がネットバンキング契約されていることが必要です

Webで手続き完了

3 コンビニエンスストアでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、コンビニエンスストアでお支払いください。

●レジで支払い可能

セブン-イレブン



Seicomart

●店頭端末を利用して支払い可能

Loppi

LAWSON MINI STOP

マルチコピー機

あなたと、コンビニ。
FamilyMart

4 ペイジー対応銀行ATMでの支払い

出願内容の登録後に表示されるお支払いに必要な番号を控えて、ペイジー対応銀行ATMにて画面の指示に従って操作のうえお支払いください。

※利用可能な銀行は「支払い方法選択」画面で確認してください。



各コンビニ端末画面・ATMの画面表示に従って必要な情報を入力し、内容を確認してから入学検定料を支払ってください。

3 コンビニエンスストア

セブン-イレブン



店頭レジ
レジで「インターネット代金支払い」と伝える
「払込票番号(13桁)」を伝える

デイリーヤマザキ
ヤマザキデイリーストア



店頭レジ
レジで「オンライン決済」と伝える
「オンライン決済番号(11桁)」を伝える

ローソン
ミニストップ



Loppi
「各種番号をお持ちの方」を選択
「お客様番号(11桁)」入力
「マルチペイメントサービス」を選択

ファミリーマート



マルチコピー機
「代金支払い/チャージ」(コンビニでお支払い)
Payment/Charge]を選択
「お客様番号(11桁)」入力
「オンライン決済番号(11桁)」を伝える

セイコーマート



店頭レジ
レジで「インターネット代金支払い」と伝える
「オンライン決済番号(11桁)」を伝える

4 銀行ATM

Pay-easy
利用ATM



ペイジー対応銀行ATM
「税金・料金払い込み」などを選択
収納機開番号「58021」を入力

「お客様番号(11桁)」入力

「確認番号(6桁)」入力

「支払い内容確認」

「現金」「キャッシュカード」を選択し支払う※

「ご利用明細書を必ず受け取る」

レジで検定料を現金で支払う※

領収書(レシート形式)を必ず受け取る

発券された申込券(受付票)をレジへ持参し、
検定料を現金で支払う※
申込券(受付票)発行後は30分以内にレジにて
支払ってください。

取扱明細書兼領収書を必ず受け取る

※ゆうちょ銀行・銀行ATMを利用する場合、現金で10万円を超える場合はキャッシュカードで支払ってください。コンビニエンスストアを利用の場合は現金で30万円までの支払いとなります。

STEP

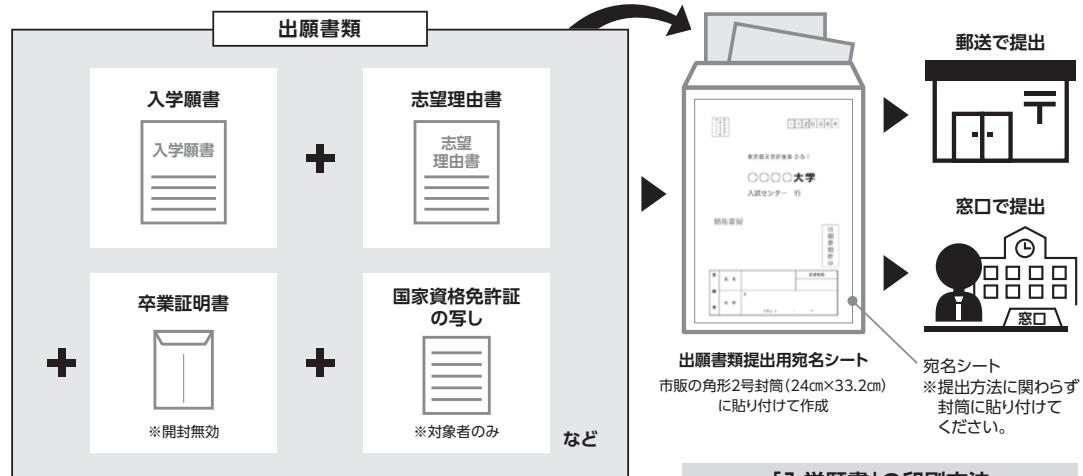
6



出願書類の印刷・提出

登録しただけでは出願は完了していませんので注意してください。

出願登録、入学検定料の支払後にダウンロードできる書類を印刷し、他の出願書類と併せて出願期間内に郵便局窓口から「簡易書留郵便」で郵送、または各キャンパスの担当窓口に提出してください。※出願締切日必着。(締切日消印有効ではありません)



■出願書類

詳細は入学試験要項「出願書類」を確認してください。

提出先

研究科・専攻によって異なります。
入学試験要項で確認してください。

※提出した出願書類および入学検定料は、いかなる理由があっても
返還しません。

「入学願書」の印刷方法



- (1) マイページに表示された「願書」ボタンをクリックしてください。
- (2) お支払いが正常に完了すると「願書」ボタンがクリックできるようになり入学願書の出力ができます。

〈出願完了〉

出願時の注意点

出願はインターネット出願サイトでの登録完了後、入学検定料を支払い、出願書類を提出して完了となります。
登録が完了しても出願締切日に書類が届かなければ出願を受理できませんので注意してください。

インターネット出願は24時間可能です。ただし、出願登録および入学検定料の支払いは出願締切日の16時30分まで(営業時間はコンビニエンスストアやATMなど、施設によって異なります)、出願書類の提出は出願締切日必着です。ゆとりを持った出願を心がけてください。

STEP

7



受験票の印刷

本学で出願書類を確認し、受験票のダウンロードが可能になりましたら、
試験前日までに出願時に登録したアドレスへメールで通知します。

必ずカラー印刷し、試験当日持参してください(※郵送はいたしません)。

【印刷に関する注意事項】受験票は必ずA4用紙に片面(カラー)印刷にしてください。



出願書類の提出

- ・インターネット出願サイトより封筒表書き（宛名シート）をダウンロード・印刷をし、A4サイズが入る封筒に貼付して出願してください。
- ・出願書類の提出方法は以下の2通りから選択してください。

1. 郵送する場合

出願書類を封筒に入れ、郵便局より必ず「簡易書留」で郵送してください。

出願期間内に到着したものについてのみ受け付けます（締切日必着となります）。

2. 大学窓口へ持参する場合

出願書類を封筒に入れて提出してください。

【郵送先および提出先】 〒320-8551 栃木県宇都宮市豊郷台1-1

帝京大学 宇都宮キャンパス 学生サポート係 大学院入試担当

【受付時間】 平日 9:00～16:30 土曜日 9:00～12:00

※日曜・祝日は受け付けません。

注意事項

- (1) 出願書類に不備がある場合は受け付けません。
- (2) 提出された出願書類および入学検定料は、いかなる理由があっても英語検定スコアの原本を除いて返却しません。
- (3) 出願後は、いかなる理由があっても記載内容の変更は認めません。
- (4) 入学手続き完了後でも、提出書類の記載に事実と相違する内容が発見された場合には、入学許可を取り消すことがあります。
- (5) 受験者は希望の指導教員の受入承諾をとることを原則としています。学外からの出願者は、あらかじめ本学学生サポート係に連絡の上、受入承諾を得てください。

【安全保障輸出管理について】

帝京大学では、「外国為替及び外国貿易法」に基づいて、「帝京大学・帝京大学短期大学安全保障輸出管理規程」を定め、物品の輸出、技術の提供、人材の交流に関して必要な審査を実施しています。規制されている事項に該当する場合は、希望する研究活動に制限がかかる場合や、教育を受けられない場合がありますので、入学願書の提出前に指導希望教員と相談するなど、出願にあたっては注意してください。なお、入学時に「外国為替及び外国貿易法」を遵守する旨の誓約書に署名していただきます。

入学試験について

1. 試験場

帝京大学宇都宮キャンパスにて試験を行います。必ず「受験上の注意」の10分前までに試験室に入室してください。

試験室は、試験当日、本キャンパス本部棟1号館1階に掲示しますので、早めに試験場に到着し、確認してください。

2. 受験上の注意

- ①試験当日は必ず受験票を持参してください。受験票がない者は受験できません。
- ②試験中は監督者の指示に従ってください。指示に従わない場合は失格となります。
- ③不正行為者には退室を命じ、失格とします。
- ④試験場および試験室において、他の受験生の迷惑となるような行為を禁止します。
- ⑤受験票は常に携帯してください。
- ⑥机上に置けるものは受験票・鉛筆（シャープペンシルを含む）・消しゴム・時計（時計機能だけのもの）・眼鏡です。これ以外の所持品を置くことは認めません。
- ⑦筆記用具・腕時計の貸借は一切禁止します。忘れずに持参してください。
- ⑧定規・コンパス・翻訳機・計算機は使用できません。ただし、本学から貸出しをする関数電卓を除きます。
- ⑨ハンカチ・ティッシュペーパー・座布団・ひざ掛け・目薬等の使用を希望する者は監督者に申し出て、その指示に従ってください。
- ⑩「耳栓」は監督者の指示等が聞き取れないことがありますので使用できません。
- ⑪試験に必要なものは、かばん等に入れて椅子の下に置いてください。
- ⑫携帯電話・スマートフォン・PHS・音楽プレーヤー・ウェアラブル端末・ICレコーダー・イヤホン等電子機器は必ずアラームを解除し、電源を切ってかばん等に入れてください。試験時間中に携帯電話等を身につけていることがわかった場合、失格となります。また、これらを時計として使用することはできません。なお、試験時間中にかばん等の中で携帯電話の着信音やマナーモードの振動音等が発生した場合には、監督者が本人の了解を得ずにかばん等を試験室外に持ち出し、試験本部で保管する場合があります。
- ⑬試験時間内の答案提出、退出は認めません。試験中の発病等やむを得ない場合は、手を挙げて監督者の指示に従ってください。ただし、一時退室が認められた場合でも試験室以外での受験はできません。また、一時退室した場合の試験時間の延長は認めません。
- ⑭試験時間中に日常的な生活騒音等（監督者の巡回による足音・監督業務上必要な打合せなど、自動車・風雨・空調の音など、周囲の受験者の咳・くしゃみ・鼻をする音など、携帯電話や時計等の短時間の鳴動、照明の点滅、周囲の建物のチャイム音・周囲の工事音など）が発生した場合でも救済措置は行いません。
- ⑮試験終了後、忘れ物が無いか確認してから退出してください。
- ⑯試験室は全て禁煙となります。喫煙は指定された場所でお願いします。

3. 遅刻について

筆記試験の試験開始後30分までの遅刻に限り、受験を認めます。ただし、試験時間の延長は認めません。

口述試験・面接については、9:30までに入室していない場合、受験することができません。

※交通機関の乱れや災害等が発生した場合は、開始時刻を繰り下げることがあります。

合 格 発 表

Web による合否照会システム

合格発表当日の 11 時から発表日 6 日後の 22 時までに限り、Web による合否結果の照会サービスを利用することができます。以下に記載の合否照会 URL よりご利用ください。



合否照会URL(Webアドレス)

<https://www.gouhi.com/teikyo/>

(パソコン・携帯電話等共通)



利用期間

合格発表日 11:00 ~ 発表日6日後 22:00



注 意 点

- ①操作方法については画面の指示に従って操作してください。
 - ②利用の際には「受験番号（7 衞）」、「誕生日（4 衞）」が必要となります。
 - ③帝京大学宇都宮キャンパスへの合否結果や受験番号、誕生日等に関する問い合わせには、一切応じられません。また、パソコンや携帯電話等の設定などについての問い合わせにも応じられません。
 - ④確認忘れ等があっても、利用期間以外に合否照会はできません。
- ※システムの誤操作、入力ミス、確認ミス等を理由とした、入学手続締切日を過ぎてからの入学手続は一切認めません。

入 学 手 続

1. 手続方法

①インターネット出願サイトのマイページにログインし、マイページメニューの「入学手続」より振込依頼書をダウンロード・印刷してください。印刷した「振込依頼書」を使用し、志願者本人の名前にて**国内の金融機関**から納入金をお振り込みください。

ATM、パソコン、携帯電話等からの振り込みはできません。

ゆうちょ銀行から納入金を振り込む場合、現金による振り込みはできません。ゆうちょ銀行口座の「通帳と届出印」または「キャッシュカード」が必要です。詳細につきましては、ゆうちょ銀行または郵便局にお問い合わせください。

※本人確認手続きに関する法令により、金融機関において 10 万円を超える現金による振り込みをされる場合には、本人確認書類（運転免許証、健康保険証等）の提示が必要となります。詳しくは振り込みを依頼する金融機関にお問い合わせください。

②納入金は、合格発表日から入学手続締切日までに本学へ着金するように振り込んでください。金融機関の取り扱いにより、送金が翌日扱いになる場合があります。詳細については、各金融機関にお問い合わせください。

入学手続締切日までに振り込み手続き（本学への着金）を完了しない場合は、入学の意思がないものとみなし、入学許可を取り消します。なお、入学手続締切日の延期等は一切できません。

③納入金の手続き後、「新入生向けサイト」より入学予定専攻の入学案内書類を確認し、必要書類を提出してください。入学案内書類の郵送は行いません。

入学式の日程や大学からの重要書類を掲載しますので必ず確認してください。

新入生向けサイト：https://teikyo.jp/new_student

なお、卒業（修了）見込者は卒業（修了）証明書を 2026 年 3 月 25 日（水）までに提出してください。



※入学手続き完了後でも、入学資格がないことが判明した場合には、入学許可を取り消します。

その場合、納入金のうち入学金を除く金額を返還しますが、手続き、期限等につきましては、以下の入学辞退に準じます。

2. 入学辞退

納入金の手続き完了後に、入学辞退を希望し、インターネット出願サイトより **2026 年 3 月 31 日（火）16:00** までに入学辞退の登録をした場合には、入学金を除く金額を返還します（振込手数料は出願者負担となります）。なお、辞退登録後の変更は一切受け付けません。詳細については、新入生向けサイトに掲載の「入学案内書類」を参照してください。

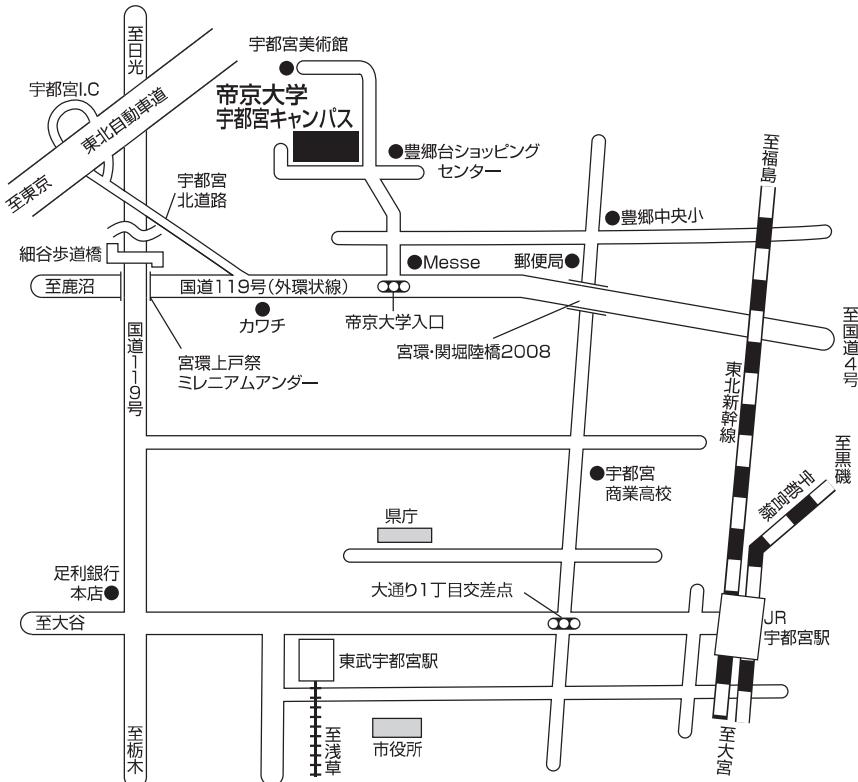
試験場および出願場所案内

宇都宮試験場（帝京大学宇都宮キャンパス）

出願場所：帝京大学
宇都宮キャンパス
学生サポート係
理工学研究科
大学院入試担当

<所在地>
栃木県宇都宮市豊郷台 1-1
TEL 028 (627) 7123

◎ JR 東北新幹線・宇都宮線
宇都宮駅西口下車
○関東バス 5 番のりばから豊郷台・
帝京大学行、ニュー富士見行、
宇都宮美術館行に乗車し 20 分、
「帝京大学」下車



問い合わせ先

●理工学研究科

所在地 〒320-8551 栃木県宇都宮市豊郷台 1-1

TEL 028 (627) 7123 (学生サポート係直通)

E-MAIL gakusei@riko.teikyo-u.ac.jp

修了要件

2年以上在学（最長在学期間は4年）し、修了に必要な最低単位数30単位以上（特別演習、特別研究を含む）を修得し、かつ修士論文の論文審査および最終試験を受け、その審査および最終試験に合格しなければなりません。修了した方には、修士（工学）の学位を授与します。

取得できる資格

●高等学校教諭専修免許（情報）

高等学校教諭一種免許状（情報）を取得している方で、専修免許状の取得を希望する方は、入学後、教職課程履修登録（登録料2,000円）し、所定の単位を修得した場合のみ、高等学校教諭専修免許状（情報）が取得できます。

教育・研究指導の方法

本学の通信制大学院の教育・研究指導は、大きく分けて次の3つの方法で行われます。

1. 情報科学専門科目

授業科目の学習方法はテキストまたはメディアによる授業で行われます。対面授業（スクーリング）は、学生と教員双方の必要に応じて行います。テキスト授業は、指定テキストを利用した自学自習とeメール等を通じた教員の指導と協議を通じ、専門性の高い基礎知識を養います。学習過程の中間および終了の際にレポートを提出し、担当教員による添削、採点、講評を受けます。レポート合格の後、科目修得試験に合格すれば単位修得となります。メディア授業は、自宅のパソコンからインターネットを利用してeラーニング（LMS）で学習を進め、コンテンツごとの演習や小テスト等を行いながら添削指導を受けます。最後に科目修得試験に合格すれば単位修得となります。科目修得試験は、9月と2月に土・日曜で実施します。予め時間割が決まっていますので、どの科目をいつ受験するのか、各自で学習計画を立てます。

2. 特別演習

修士研究に共通して必要な論文調査能力や問題解決能力を養成するため、指導教員の下で、学生が指定された学術論文や専門書の講読を行います。この演習により、研究分野での現状の最新技術や概念を学ぶとともに問題点を探り、修士研究を遂行するまでの基礎知識および研究手法などを習得することになります。学習は、教員からの指導助言や学生側の進捗状況や問題点の報告、レポートの提出、通信（eメール・LMS）および必要に応じて対面（スクーリング）での討議を交えて進行します。

3. 特別研究

特別演習と同じ指導教員の下で特別研究（修士論文）の作成を行います。特別研究（修士研究）として提示された複数の課題、あるいは学生が提案した課題の中から指導教員との協議により、研究テーマを一つに絞り研究を遂行することになります。研究過程において、研究テーマの妥当性や進捗状況を把握するため、中間報告会を実施します。最終的には、研究結果をまとめ修士論文を提出し、修士論文発表会での修士論文の審査および評価を行います。なお、修士論文の提出にあたっては、指導教員の許可を得ていなければなりません。

修士論文に関する日程 (2026 年度の日程は正式に決定しておりません)

- 1 年次 研究計画書提出 2026 年 9 月中旬
- 2 年次 中間発表会 2027 年 5 月中旬
- 2 年次 論文審査手数料等納付 2027 年 11 月初旬
- 2 年次 論文提出締切日 2028 年 1 月初旬
- 2 年次 最終発表日 2028 年 1 月中旬

科目修得試験実施日程

科目修得試験は、1科目につき2回、受験の機会があります。時間割は予め決定していますので、受験したい時期のレポート提出締切日に合わせて学修を進めることになります。9月および2月の科目修得試験は、メディア授業とテキスト授業の試験です。インターネット回線を使用して自宅のパソコンで受験するオンライン試験となりますので、事前に自宅の通信環境を整える必要があります。

● 2026年度科目修得試験日程（予定）

	科目修得試験日	レポート提出締切日 (必着)	科目修得試験申込期間 (必着)
9月	2026年9月5日（土） 6日（日）	8月7日（金）	8月7日（金）～8月10日（月）
2月	2027年2月6日（土） 7日（日）	1月8日（金）	1月8日（金）～1月11日（月）

【科目修得試験の受験資格】

テキスト授業の科目は、規定数のレポート課題を指定された期日（レポート提出締切日）までに提出しすべて合格していること、メディア授業の科目は、各試験期で指定された期日までに規定数の課題を合格していることが、受験資格を得る条件となります。

【科目修得試験（オンライン試験）の受験環境】

● 通信環境

インターネット接続が必要です。接続中断等のトラブルを避けるため、有線LANケーブルを使用することを推奨します。Wi-Fi等を使用する場合は電波の良い環境をご準備ください。動作環境と推奨環境の詳細については [P.11 「入学および出願に関する注意事項（インターネット環境について）」](#) にてご確認ください。

● 受験に必要な機器類

カメラ付きPC（Webカメラを接続したPC）、インターネット環境、プリンター（印刷機）、zoomアプリ、レターパック、PDFスキャナーアプリ

● 2026年度科目修得試験時間割（予定）

（試験時間は50分）

	2026年9月5日（土）	2026年9月6日（日）	2027年2月6日（土）	2027年2月7日（日）
1	医療ロボット計測工学	応用コンピュータグラフィックス	医療ロボット計測工学	量子情報科学 統計的機械学習
2	数理モデル論	量子測定論	量子測定論	数理モデル論
3	データ知能工学	暗号と情報セキュリティ論 応用Webシステム	暗号と情報セキュリティ論 応用Webシステム	データ知能工学
4	量子情報システム工学	オブジェクト指向設計論	オブジェクト指向設計論	量子情報システム工学
5	医用データサイエンス論	知能システム論 プロセス生産システム	知能システム論 プロセス生産システム	医用データサイエンス論
6	無線情報通信工学	量子情報科学 統計的機械学習	応用コンピュータグラフィックス	無線情報通信工学

指 導 教 員 (2025 年度現在)

教員名	研究領域・研究テーマ（上段）および研究指導（下段）について
教授 小川 充洋	医用生体工学 医用・福祉応用の為の非侵襲生体計測法の開発研究／遠隔医療のための技術開発／生体信号処理に関する研究／看護理工学に関する研究／ゲームサイエンスへの生体情報計測の応用研究等
	原則的に、Skype や電子メールなどを用いて研究を進めますが、必要に応じて学生には登校を求める。修士論文の内容については、国内の関連学会または国際学会において発表できるレベルのものを目標とします。
教授 佐々木 茂	マルチメディア・コンピュータグラフィックス コンピュータグラフィックスを用いたマルチメディアコンテンツの開発、マルチメディアを活用した学習支援システムや学習コンテンツの開発 等
	研究についての指導などは E メールや Web 会議にて行います。定期的に進捗状況について報告してもらいます。必要に応じて対面での指導や議論も行います。
教授 棚本 哲史	量子情報システム工学 量子コンピュータを物性理論と半導体工学シミュレーションの立場から研究
	研究に対する指導助言は主に E メールを用いて行い、学生から定期的に進捗状況の報告及び研究成果の提出を求める。適宜、対面での指導・議論を行います。
教授 蓮田 裕一	ロボット工学 自律型ロボットの開発／AI を用いたカメムシなどの害虫の画像検出と駆除／DX 教育法の開発と実践／衛生害虫のオートサンプリングマシンの開発／ロボット工学を通した技術教育法等
	研究に対する指導助言は主に E メールを用いて行い、学生から定期的に進捗状況の報告及び研究成果の提出を求める。適宜、対面での指導・議論を行います。
教授 浜田 宏一	認識情報処理工学 物体検出や認識などのコンピュータビジョン／自然言語処理／情報可視化 等
	研究テーマが決まるまでは、Web 会議システム等により週に 1 回程度の打合せをします。テーマ決定後は、2 週間に 1 通程度の研究作業報告書の提出を求める。それをもとに、Web 電話システムを用いて、議論を進めます。
准教授 小島 一晃	認知科学 人間の問題解決・学習・創造的思考の科学的理解、それらを支援する知的システムの開発 等
	メールや LMS で情報共有をしながら、定期的に Zoom 等のビデオ会議システムを用いて（必要があれば対面で）ディスカッションを行うことで、研究進捗確認と指導を行います。研究成果を学会・研究会で対外発表することを促し、学術コミュニケーションの体験と関連スキルの向上を目指します。
准教授 小林 靖之	健全性診断技術・計算機統計学・統計的機械学習 多変量解析や統計的機械学習によるデータ解析／異常診断技術の開発研究 等
	Excel や統計処理ソフトウェア R、もしくは Python が実行できるパソコンを準備して下さい。大学院生が研究テーマを実務へ応用することを念頭においてもらうため、研究対象のデータを大学院生自身に調査・選定してもらいます。進捗報告・質疑応答では Zoom または電子メールによるオンライン指導を行います（対面指導も可能です）。

教員名	研究領域・研究テーマ（上段）および研究指導（下段）について
准教授 佐藤 佳子	<p>情報地球惑星科学 情報惑星科学分野で扱われるデータの観測・計測、分析解析、公開等の技術開発／オープンデータやアーカイブデータなどを用いた実際の観測の数値分析／シミュレーションやデータ利用の立場からの情報惑星科学的解析や支援ツールの開発／機器分析のアプリケーションの開発 等</p> <p>研究指導や議論などについては、メールやテレビ会議（zoom 等）や、LMS などの IT コミュニケーションを行えるポータルサイトを活用して行います。また、研究の内容や進捗状況、論文購読・プレゼンテーションなど、論文作成に必要な指導・議論を行います。必要に応じて対面指導なども行い、学会・研究会などの発表を目指します。</p>
准教授 塩野目 剛亮	<p>福祉情報工学 職場うつ予防のための組織シミュレータの開発（感謝の気持ちを伝えるポイントアプリの活用、モデル・シミュレータの開発等）／クラウドソーシングを用いた情報保障／色覚多様性の理解・啓発につながるシステムの開発、HMD を用いた手話学習支援システムの開発、オーディオゲームの開発 等</p> <p>研究に対する指導助言は主にメールで行い、学生から定期的に進捗状況の報告及び研究成果の提出を求めます。適宜、テレビ会議や対面での指導・議論を行います。</p>
准教授 古川 文人	<p>情報工学 情報通信技術を活用した教育・学習方法に関する研究 等</p> <p>メールやテレビ会議システムなどオンライン上での指導が基本ですが、必要に応じて対面の会議を設けます。</p>
准教授 水谷 晃三	<p>情報システム学 利用者の活動に追従するコンピューティング環境の研究／プログラミングを中心とした教育学習支援の開発手法に関する研究 等</p> <p>原則的に、電子メール、テレビ会議システム（Zoom など）、研究室ポータルサイトなど IT を活用したコミュニケーション手段により指導を行います。研究の内容や進捗状況、プレゼンテーションの練習など、必要に応じて対面での指導を行うこともあります。また、学会・研究会などでの研究発表を求めます。</p>
准教授 室 幸市	<p>光工学 機能性光学コートの作製や計測に関する研究／光ファイバを用いた計測システムの開発／LiDAR 用光学部材の研究 等</p> <p>研究の打合せや報告等は、E-mail または LMS にて行います。必要な場合は対面での打合せもあります。大学院であることを理解し、学術的な専門性を高めていきます。研究の内容、調査方法、プレゼンテーションの仕方などを経て、学会等での発表を目指します。</p>
准教授 盛 拓生	<p>情報セキュリティ ソフトウェアの著作権保護／安全なモバイルエージェントシステムとその応用 等</p> <p>教員と履修者の間のコミュニケーションツールとしては、e-mail、LMS、オンラインミーティングツールを利用します。また、演習にあたって PC 等で利用する必要のある教材に関しては、原則的にフリーまたはオープンソースのものを履修者の PC にインストールして使用してもらいます。研究を行う上で必要であれば、直接面接してディスカッション等を行うこともあります。</p>
講師 木村 直樹	<p>プロセスシステム工学 化学工場の異常検知・診断システム／化学工場の設計支援システム 等</p> <p>E-mail、LMS、オンラインミーティングツール（Zoom や MS Teams）を用いて定期的な打ち合わせを行ないます。対面での打ち合わせも可能です。また、他の学生との合同ミーティングにて、相互に意見交換することもあります。</p>

教員名	研究領域・研究テーマ（上段）および研究指導（下段）について
講師 福嶋 勇太	<p>ロボット工学 縫合ロボット／穿刺ロボット／振戦抑制ウェアラブルデバイスの開発／人間機械協調系 等</p> <p>研究に対する指導・助言は Web 会議システム等を用いて定期的に行います。また必要に応じて適宜対面での指導、議論を行います。本人が希望する場合、または大学の施設設備を用いた実験やハードウェアに関する研究を実施する場合は、研究室において作業を行うことを認めます。</p>
講師 真坂 美江子	<p>社会システム工学・数理情報システム工学 個人の意思決定・行動選択理解／社会課題解決のための支援情報システム開発／シリアルゲーム開発／先進的学習支援 等</p> <p>環境・健康・教育に関する社会課題を対象とした分析・モデリング、もしくは、支援情報システムの開発を行います。研究に対する指導助言は主に E メール、オンラインミーティングツールを用いて行い、学生から定期的に進捗状況の報告及び研究成果の提出を求めます。適宜、対面での指導・議論を行います。</p>
講師 宮崎 誠	<p>教育工学 インストラクショナルデザインに基づいたシステム開発／学修成果の国際技術標準に関する研究 等</p> <p>メールや Zoom を利用して、研究の指導・助言を行います。必要に応じて対面で行うこともあります。定期的に研究進捗の報告を行う機会を設け、学会や研究会などの研究発表を促します。</p>
講師 山根 健	<p>知的情報処理 脳型情報処理システムの研究／屋外自律移動ロボット／人支援技術の開発 等</p> <p>脳の情報処理モデル、ニューラルネットを用いた情報処理、人工知能、知能ロボット、ゲーム AI、人支援技術の開発などから 1 テーマ選択して演習・研究を行う。基本的に週 1 回程度、電子メール、LMS、Zoom などを利用して学生と教員で打ち合わせを行う。また、プレゼンテーション発表の練習など、必要とみなされる場合のみ対面指導を行う。さらに、大学の施設設備の利用を強く希望する場合は、指導教員が定めた期間、研究室において通学制の院生・学生と連携しながら作業することを認める。</p>
助教 永田 智洋	<p>音声情報処理・対話処理 対話場面における音声認識／対話音声合成／感情情報処理／音声対話システム／笑い声などを中心としたノンバーバル表現についての研究 等</p> <p>主に音声を中心とした人間と機械のノンバーバルコミュニケーションについての研究を行う。研究に関する打ち合わせや相談は LMS、電子メール、オンライン会議ソフト（Skype や ZOOM 等）を利用し、基本的に週単位で行う。必要な場合には対面でも実施する。学会や研究会での発表を視野に入れ、定期的に研究内容についての報告資料を作成し、プレゼンテーションの指導を行う。</p>

開講科目一覧 (2025年度現在)

テキスト授業 (T)、メディア授業 (M)

単位数の○数字は必修科目

授業科目名		授業形態	標準履修学年および単位数		D P 1	D P 2	D P 3	D P 4	担当教員	備考
			1年	2年						
専門科目 14単位以上	応用コンピュータグラフィックス	M	2			○	○		佐々木 茂	
	オブジェクト指向設計論	T	2		○	○			水谷 晃三	
	暗号と情報セキュリティ論	T	2		○			○	盛 拓生	
	応用 Web システム	M	2		○	○			塩野目剛亮	
	数理モデル論	M	2		○	○			眞坂美江子	
	知能システム論	M	2		○				山根 健	
	量子情報科学	T	2		○				渡辺 隆治	
	量子情報システム工学	M	2		○				眞坂美江子	
	量子測定論	T	2				○		湯川 英美	
	データ知能工学	T	2		○	○			浜田 宏一	
	医用データサイエンス論	T	2		○		○		小川 充洋	
	統計的機械学習	T	2				○		小林 靖之	
	プロセス生産システム	T	2		○				木村 直樹	
	医療ロボット計測工学	T	2		○				小金澤明登	
	無線情報通信工学	T	2				○		室 幸市	
特別演習 必修8単位	先端理工学特別演習第一	TM	④		○		○		小川 充洋 佐々木 茂	古川 文人 水谷 晃三
	先端理工学特別演習第二	TM		④	○		○		棚本 哲史 蓮田 裕一 浜田 宏一 小金澤明登 小島 一晃 小林 靖之 佐藤 佳子 塩野目剛亮	室 幸市 盛 拓生 木村 直樹 福嶋 勇太 眞坂美江子 宮崎 誠 山根 健 永田 智洋
特別研究 必修8単位	先端理工学特別研究第一	TM	④		○	○	○	○	小川 充洋 佐々木 茂	古川 文人 水谷 晃三
	先端理工学特別研究第二	TM		④	○	○	○	○	棚本 哲史 蓮田 裕一 浜田 宏一 小金澤明登 小島 一晃 小林 靖之 佐藤 佳子 塩野目剛亮	室 幸市 盛 拓生 木村 直樹 福嶋 勇太 眞坂美江子 宮崎 誠 山根 健 永田 智洋

●科目により、必要に応じて対面授業（スクーリング）も行います。

● DP1 ~ DP4 は、[P.2](#) の情報科学専攻のディプロマポリシーを指しています。

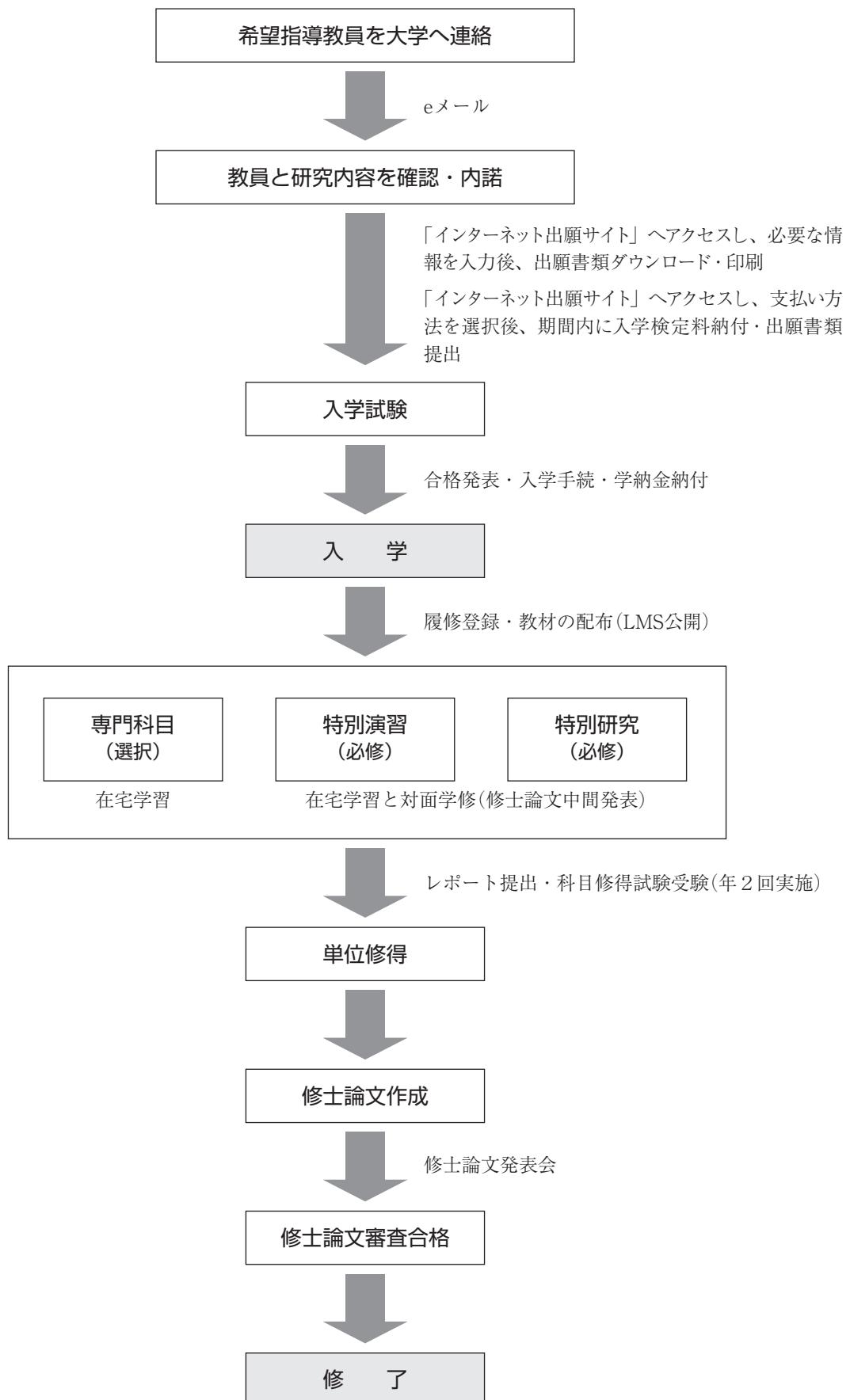
科目の概要 (2025 年度現在)

【専門科目】※科目の内容や担当教員は変更になる場合があります。

科目の名称	科目の内容
応用コンピュータグラフィックス (教授 佐々木 茂)	CPU や GPU の性能向上により、ゲーム、VR、AR などの 3 次元コンピュータグラフィックス (3DCG) を用いたコンテンツが広く見られるようになりました。このようなコンテンツの開発には、主にモデリングなどを行う 3DCG ソフトと、モデルや画像、音声などを組み合わせてゲームなどのコンテンツを開発するための機能をまとめたゲームエンジンが使われます。本科目では、最新の 3DCG コンテンツ開発のためのモデリング、アニメーション、レンダリング、エフェクトなどの技術について 3DCG ソフトやゲームエンジンを用いて実際に作成しながら学びます。
オブジェクト指向設計論 (准教授 水谷 晃三)	本科目ではオブジェクト指向言語によるソフトウェア開発におけるデザインパターンについて学びます。オブジェクト指向言語に限らずソフトウェア開発では再利用性、保守性、移植性の高い設計と実装が要求されます。この要求を満たすための一手法としてデザインパターンの適用があります。デザインパターンを効果的に適用するためにはデザインパターンに関する理解が欠かせません。本科目では簡単なプログラムの実装を通じて、オブジェクト指向言語におけるデザインパターンとその効果的な適用方法について学びます。
暗号と情報セキュリティ論 (准教授 盛 拓生)	ネットワーク化が進む社会において、その安全を保障する技術として、暗号理論およびそれに基づく情報セキュリティ技術は必須の技術となっています。この講義では主に、実際の情報システムに起こりうるセキュリティの問題について、実践的に対処するための方法を基礎から体系的に理解することを目標とします。具体的な問題としては、不正アクセス、Web アプリケーションへの攻撃、アクセス制御技術、基本的な情報セキュリティプロトコル、マルウェア等を扱います。
応用 Web システム (准教授 塩野目 剛亮)	本講義では、JavaScript および node.js などの JavaScript 環境を利用し、サーバサイドプログラミングについて体験的に学習する。初めに、これらの基礎となる技術（ネットワーク、Web アプリケーション、セキュリティなど）について概観し、予備知識を深めた後に実践、およびアプリ開発計画に入る。本講義を受講する者は、必ずしも JavaScript に習熟している必要はないが、IT に関する基礎知識（基本情報技術者試験相当）を持っていることが望ましい。また、本講義の後半では自身でシステムを考案し、構築してもらう予定であるため、開発環境を自身で準備できることが望ましい。
数理モデル論 (講師 真坂 美江子)	数理モデルとは、現実に世界で起きている様々な問題を、方程式などの数学的な形で表現し、対象データの生成ルールを模擬したものです。数理モデルは、自然科学、工学、経済学などの多岐に渡る分野で個別に論じられていますが、基本的なアイデアは通底しています。本講義は、数理モデルについて、分野を跨ぐ俯瞰的な視点でとらえ、モデルの振る舞いや性質を理解します。また、身近な現象を取り上げながら、基本的なシミュレーション技法を学びます。
知能システム論 (講師 山根 健)	本講義では、知能システムの基本的な考え方と技術について学ぶことを目的とする。また、最近の人工知能に関する話題についても取り上げて考察する。具体的には、人工知能の歴史、プロダクションシステムなど古典的な人工知能について概観し、その限界について議論する。また、サブサンプションアーキテクチャ、ソフトコンピューティング（ニューラルネット）、パターン認識、機械学習などについても取り上げる。
量子情報科学 (教授 渡辺 隆治)	量子コンピュータが注目されたようになったきっかけは、古典コンピュータでは現実的な時間内で解くことが困難と考えられた因数分解を高速に実行できる量子アルゴリズムの発明です。量子コンピュータが得意とする問題の代表的な例には、上に挙げた因数分解に加えファイル検索があります。これらの量子計算アルゴリズムを、量子コンピュータが量子ビットのテンソル積で与えられる状態のユニタリ変換で実現されるという数理モデルに基づいて理解することを目指します。

科目的名称	科目的内容
量子情報システム工学 (教授 棚本 哲史)	量子コンピュータに関する研究が世界各国で進んでいます。本科目では、量子コンピュータの基礎となる量子回路とハードウェアとしての実施例を学ぶことにより、量子コンピュータシステムを概観します。まず量子回路については、その構成要素から学びます。ハードウェアとしては現在提案されている多くの実例を検討していきます。
量子測定論 (准教授 湯川 英美)	量子測定とは、量子力学の原理に従う測定対象または測定装置を用いて、量子の世界の情報を私たちの手元にもたらす手段であり、量子コンピュータ等量子情報技術を支える基礎の1つと言えます。 量子測定は量子力学の原理に従うため、古典的な（= 量子力学を必要としない）測定に比べて感度の高い測定が可能である一方、測定結果を統計的に扱う必要がある点や、測定により対象が影響を受ける点など、わたしたちの日常的な直感に反する性質をもちます。 この授業では、量子力学を量子測定の視点からおさらいし、測定やその擾乱を分析するための基礎となる数学的な手段を学びます。 実際にホモダイン測定や量子状態トモグラフィーに対してこれらの理論を応用します。
データ知能工学 (教授 浜田 宏一)	一般的なパターン認識系の構成、およびベイズ決定論に基づく識別機構について学習します。識別関数の各クラスについて、複雑度、識別能力、頑健性の関係を学びます。統計的モデルに基づくパラメトリック識別系と識別学習に基づくノンパラメトリック識別系の構成を学び、両者の比較を行います。具体的な学習項目として、パターン認識系の構成、ベイズ決定論、統計的特徴抽出、線形識別、ニューラルネットワークなどがあげられます。
医用データサイエンス論 (教授 小川 充洋)	i 医学・医療分野およびそれらの関連分野においてもデータサイエンスの重要性は増しています。本講義では、医療分野のデータサイエンスについて、一般的なデータサイエンス手法も含めて学びます。 データサイエンスについてこれまでに学んでいない方も学習可能な教材を用いて授業を行います。すでにデータサイエンス領域について十分に学ばれている方には発展的な内容を紹介します。
統計的機械学習 (准教授 小林 靖之)	不確定さをもつ現象を扱うため、統計的アプローチによって安定して高確率で予測できるモデルを得る統計的機械学習の様々な手法の基礎的概念を簡単な演習（Excelを利用予定）とともに学びます。 昨今脚光を浴びている統計的機械学習の様々な手法（線形回帰モデル～LASSO回帰等の教師あり学習、主成分分析・独立成分分析・混合ガウスモデル等の教師なし学習、ベイズ統計の初步）の理解を目標とします。履修に当たっては、大学学部レベルの人工知能等の関連科目や数理統計学、微分積分、線形代数の履修を前提とします。
プロセス生産システム (講師 木村 直樹)	工業における生産システムは、多数の装置や機器からなる物理的なシステムはもちろん、コンピュータシステムや人を含むハートソフト両面を併用した巨大かつ複雑なシステムとなっています。 これらを概説し、さまざまなモデリング手法を駆使して、プロセス生産システムやプロセスシステム工学分野の諸問題に取り組むための知識や技術を修得します。
医療ロボット計測工学 (准教授 小金澤 明登)	医療におけるロボット技術や計測技術の適用範囲は多岐にわたり、現代の最先端医療において不可欠なものとなっている。最先端医療の中でも、がん診療は日本における罹患率が増加の一途をたどり、現在では国の重要な医療政策として対策が進められている。本科目では、がん診療で活躍するロボット技術や計測技術、また近年急速に発展が続く人工知能を中心に最先端の事例を学修する。
無線情報通信工学 (准教授 室 幸市)	無線情報通信システムに共通する基本的な技術と、これらを応用した通信システムについて学びます。基本技術としては、電磁波と電波、アンテナ、給電線路、電波伝搬、変復調などです。通信システムについては、地上マイクロ波通信、衛星通信、移動体通信、無線 LAN 等のシステム構成や、使われている技術について学びます。また、最新の研究開発動向などについても学びます。

出願から修了まで



出願書類（所定用紙）

各種所定用紙のプリント出力時のご注意

印刷の際は、必ず印刷範囲の【現在のページ】にチェックをしてください。
※【現在のページ】をチェックしないとすべてのページが印刷されますので
ご注意ください。

[志望理由書](#)

[長期履修申請書](#)

[個別入学資格審査申請書 様式 1-1](#)

[個別入学資格審査申請書 様式 1-2](#)

[個別入学資格審査申請書 様式 1-3](#)

【博士前期課程・博士後期課程出願者用】

志 望 理 由 書

フリガナ		性別 (○で囲むこと)	男・女
氏名			
生年月日	年	月	日生
志望する研究科・専攻	理 工 学 研 究 科	情 報 科 学 専 攻	

志 望 理 由

長期履修申請書

20 年 月 日

帝京大学 学長 沖永 佳史 殿

志望研究科・専攻等

志望課程・コース

氏名

印

下記の通り長期履修を申請します。

受験番号	※	入学年度	※ 年度
長期履修期間	20 年 月 日	～	20 年 月 日 (年間)
勤務先 (職種)	()		
勤務先所在地	〒	—	TEL ()
申請理由	<hr/> <hr/> <hr/>		
履修計画	<hr/> <hr/> <hr/> <hr/> <hr/>		
指導教員の意見	<hr/> <hr/> <hr/>		
	指導教員氏名	印	

※欄は大学側で記入します。

個別入学資格審査申請書

申請日 年 月 日

帝京大学長 殿
帝京大学短期大学長 殿

以下の通り、2026年度入学者選抜試験の「個別入学資格審査」を申請いたします。

申請者		性別	生年月日		
フリガナ		男 ・ 女	西暦	年	月
氏名			日	(満)	歳)
住所・連絡先					
〒 —					
4cm×3cmの カラー写真を 貼ってください					
【携帯電話】	—	【自宅】	—	—	
【メールアドレス】 @					
出願を希望する <大学/学部/学科/コース名> <大学院/研究科/専攻/課程名/コース名>					
出願を希望する入試時期区分 (例:総合型選抜Ⅰ期、大学院Ⅰ期等) ※複数ある場合は、全て記入してください					
取得済みの資格 ※不足する場合は、別紙にて提出してください					
年	月				
年	月				
年	月				
年	月				
年	月				
学習歴	学校名 (該当に○印)		修学年限	在籍期間 (該当に○印)	
小学校 ※1			年間	年 月 入学	年 月 卒業
中学校 ※1			年間	年 月 入学	年 月 卒業
高等学校	【全日制・定時制・通信制・その他()】		年間	年 月 入学	年 月 卒業・卒業見込・退学
大学・ 短期大学			年間	年 月 入学	年 月 卒業・卒業見込・退学
大学院			年間	年 月 入学	年 月 卒業・卒業見込・退学
その他			年間	年 月 入学	年 月 卒業・卒業見込・退学
最終出身学校等で授与された学位 (学位がない場合は「なし」と記入)			学位名		
受験するまでの修学年数 (小学校から通算した年数)			年		

※1 大学「個別入学資格審査」申請者のみ記入(大学院「個別入学資格審査」申請者は記入不要)

実社会での実務経験の有無 有・無

※ 実社会での実務経験【有】の場合は、以下をご記入ください。



〒320-8551 栃木県宇都宮市豊郷台1-1

T E L : 028-627-7117

Eメール : tsushin@riko.teikyo-u.ac.jp

問い合わせ先 教務課

ホームページ : <https://www.teikyo-u.ac.jp/>